

# テルモワイヤ 温湿度表示プログラム「Po485THSforWindows.exe」操作マニュアル

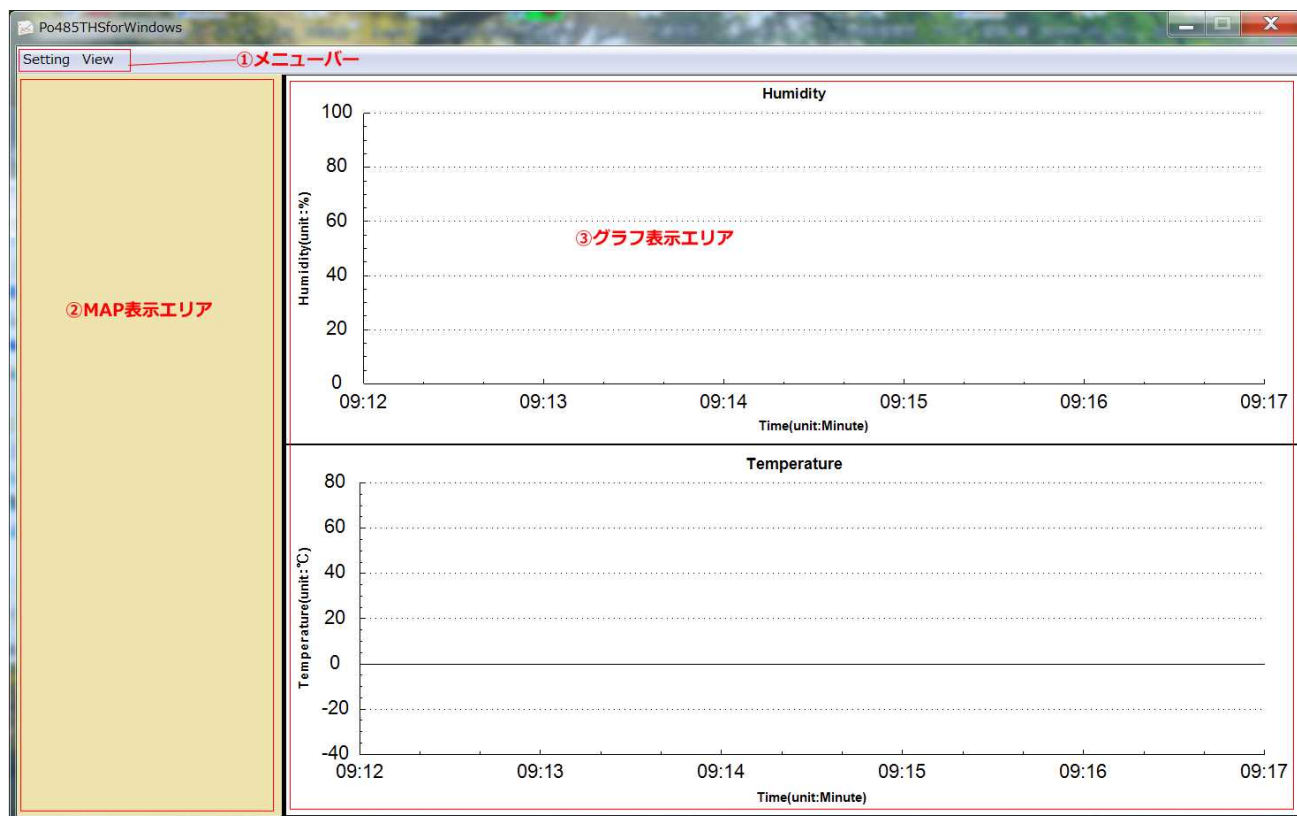
はじめに

- ・本マニュアルは、データリンク社製 「テルモワイヤ」を使用して計測した温・湿度を表示する為の Windows7～Windows10 用の「テルモワイヤ温湿度表示プログラム」についての操作方法を記述しています。

## 1) 起動画面

- ・弊社 HP からダウンロードした圧縮ファイルを展開して作成されたフォルダ内の「Po485THSforWindows.exe」をダブルクリックすると以下の起動画面（インストール直後の起動画面）となります。

主に次のエリアから構成されます。①メニューバー ②MAP 表示エリア ③グラフ表示エリア



## 2) 表示モード説明

- ・メニューバーの「View」－「Setting」より「MAP」又は「Table」画面表示モードの切り替えが可能です。

ア) Map : センサーを配置した簡易 MAP を表示しながら温湿度のグラフを表示するモードです。(上記画面)

イ) Table : センサー名毎に時間や温湿度データを数値でテーブル表示するモードです。(後述)

※本プログラムを×ボタンで終了後、再起動させた場合、終了時に表示していた画面状態で起動します。

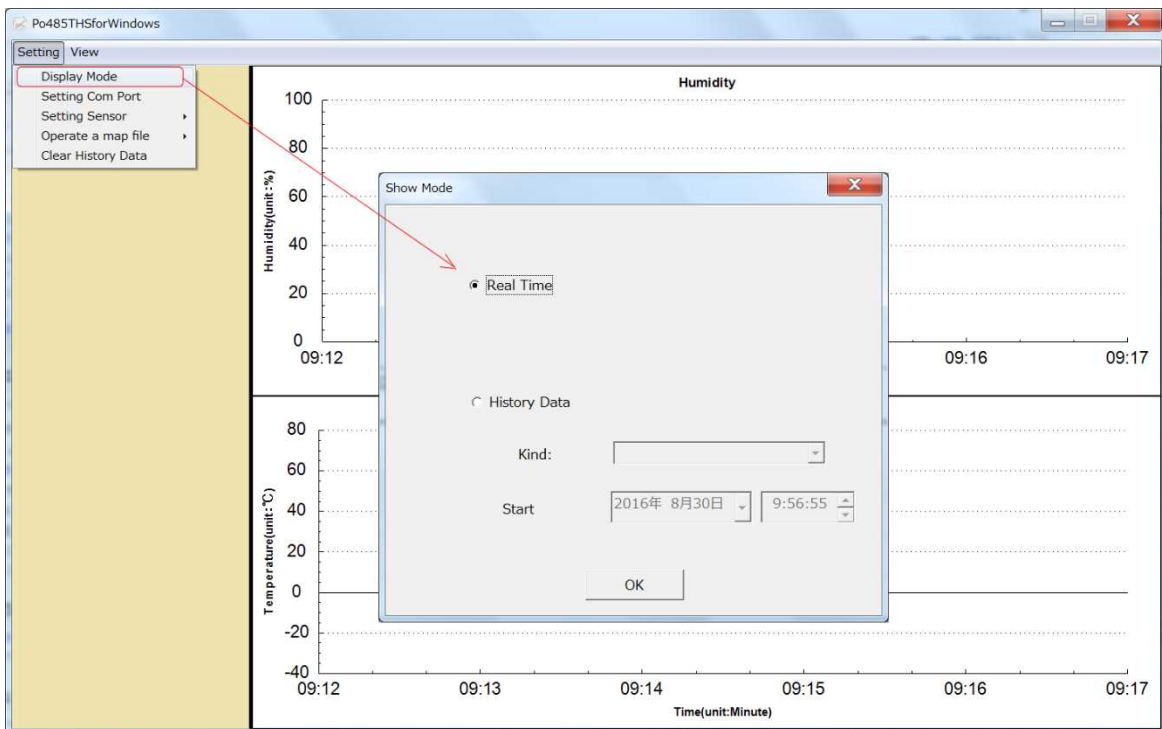


### 3) 使用方法

①メニューバーより「Setting」－「Display Mode」を選択します。

下記画面となりますので、とりあえず「Real Time」を選択し OK をクリックします。

※計測データがある程度蓄積された状態で「History Data」を選択し「Kind」項目の選択により時間/日/月等の単位でのグラフ表示が可能です。

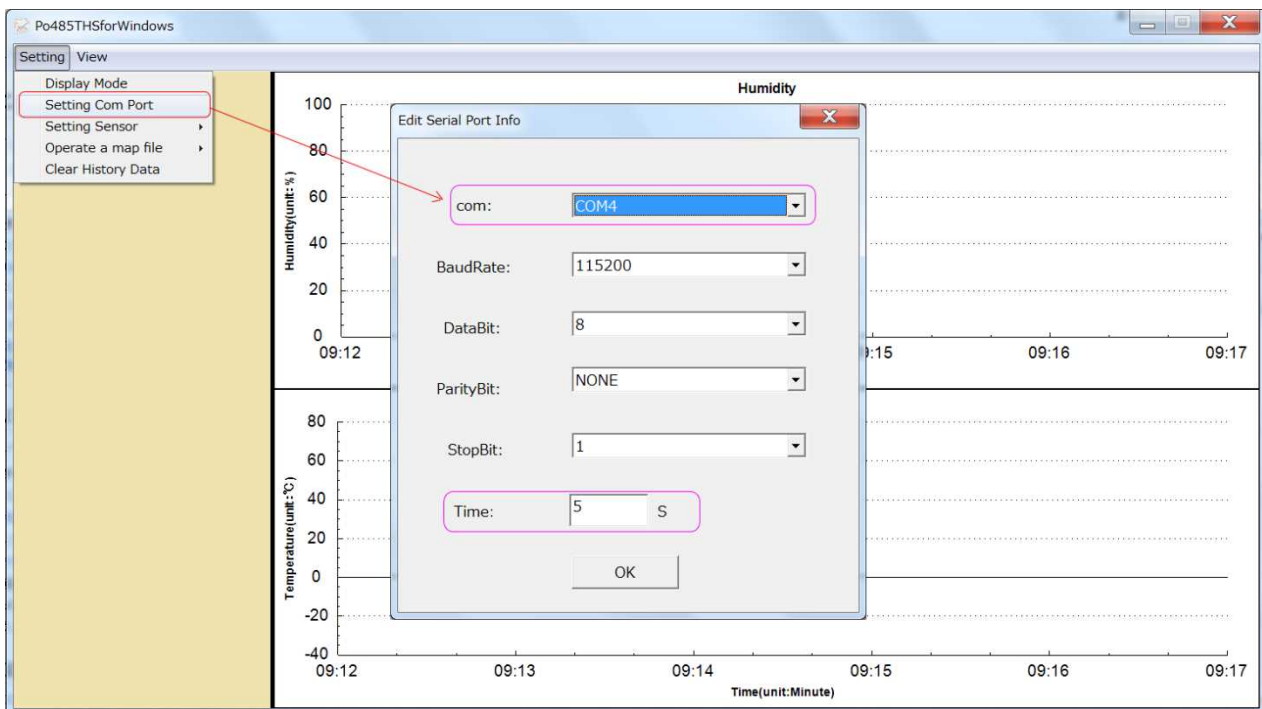


②メニューバーより「Setting」－「Setting Com Port」を選択します。

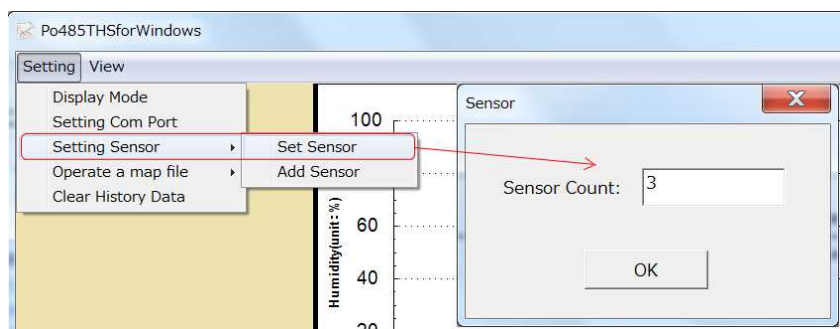
下記画面となります。変更可能な項目は、com:と Time:の項目のみです。

com : には、Po485/M を接続した PC の COM ポート番号を指定してください。

Time : は、温度・湿度を計測する間隔を指定します。(5 秒以下の時間は指定出来ません)

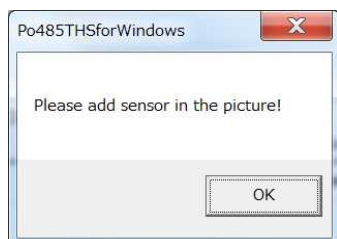


③メニューバー「Setting」－「Setting Sensor」－「Setting Count」を開いて接続したセンサー（Po485/S）の接続数を入力します。OK をクリックします。

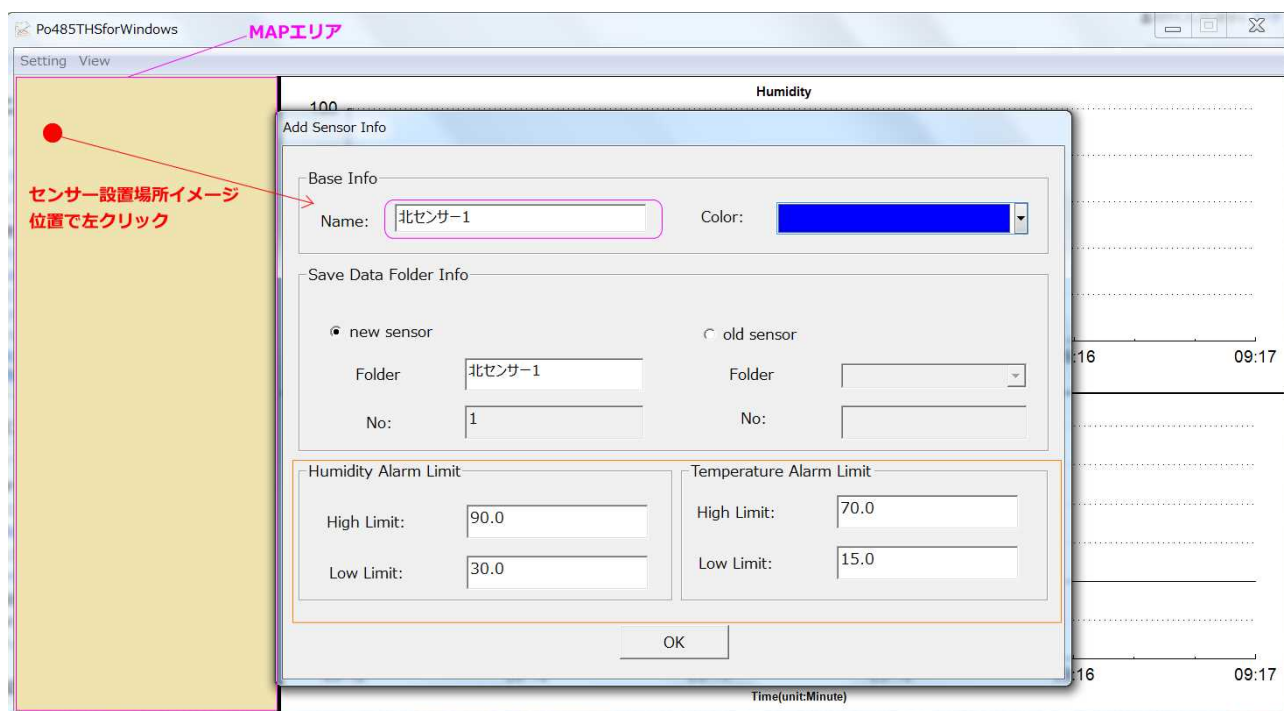


※1度、センサーの数を設定後にセンサーを追加する場合は、「Setting」－「Setting Sensor」－「Add Sensor」を選択します。

④以下の画面が表示され、ソフト表示画面左側のMAPエリアにセンサーの場所を指定するよう促します。

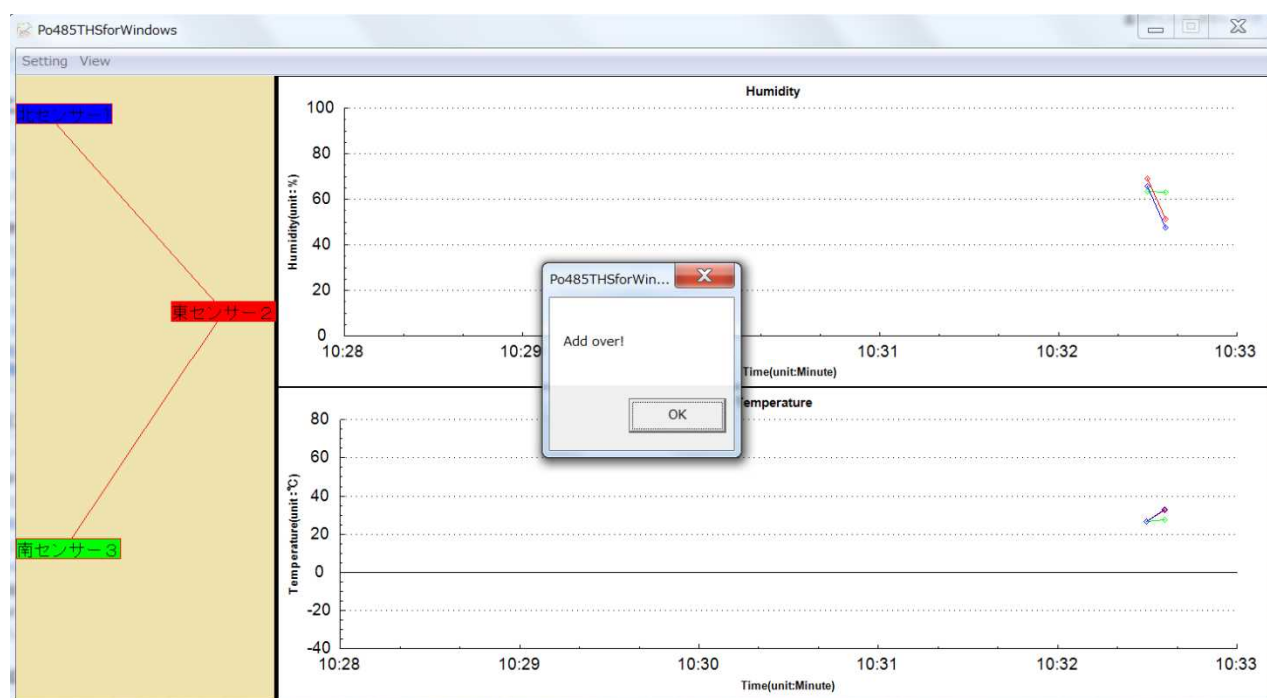


⑤プログラム画面、向かって左側のMAPエリアにカーソルを移動し指定場所を左クリックするとセンサー情報を登録する以下の画面が表示されます。画面の様にセンサー名称を入力します。（後から変更も可能です）



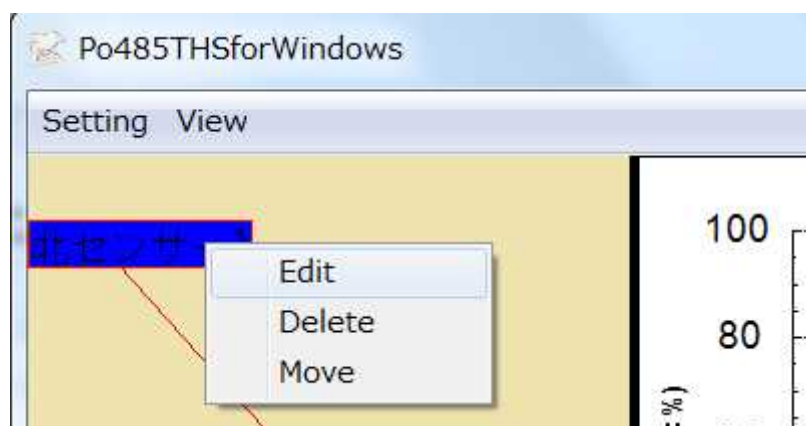
- ・この作業を前述③で入力したセンサーの数分繰り返します。
- ・Name: センサーの名前を入力します。
- ・Color: センサーのカラーを設定します。
- ・Save Date Folder Info: 新規の場合画面のようにNameで設定した名前がそのままフォルダ名称になります。
- ・Humidity Alarm Limit, Temperature Alarm Limit: 指定の湿度、温度設定値を超えた場合、Alarm 情報となります。（後述 Table 表示モード）

下記のように設定したセンサー分の登録を完了した事を示す “Add over!” のメッセージ画面が表示されます。  
センサーの登録が行われると、温湿度データ計測コマンドの送信を開始します。

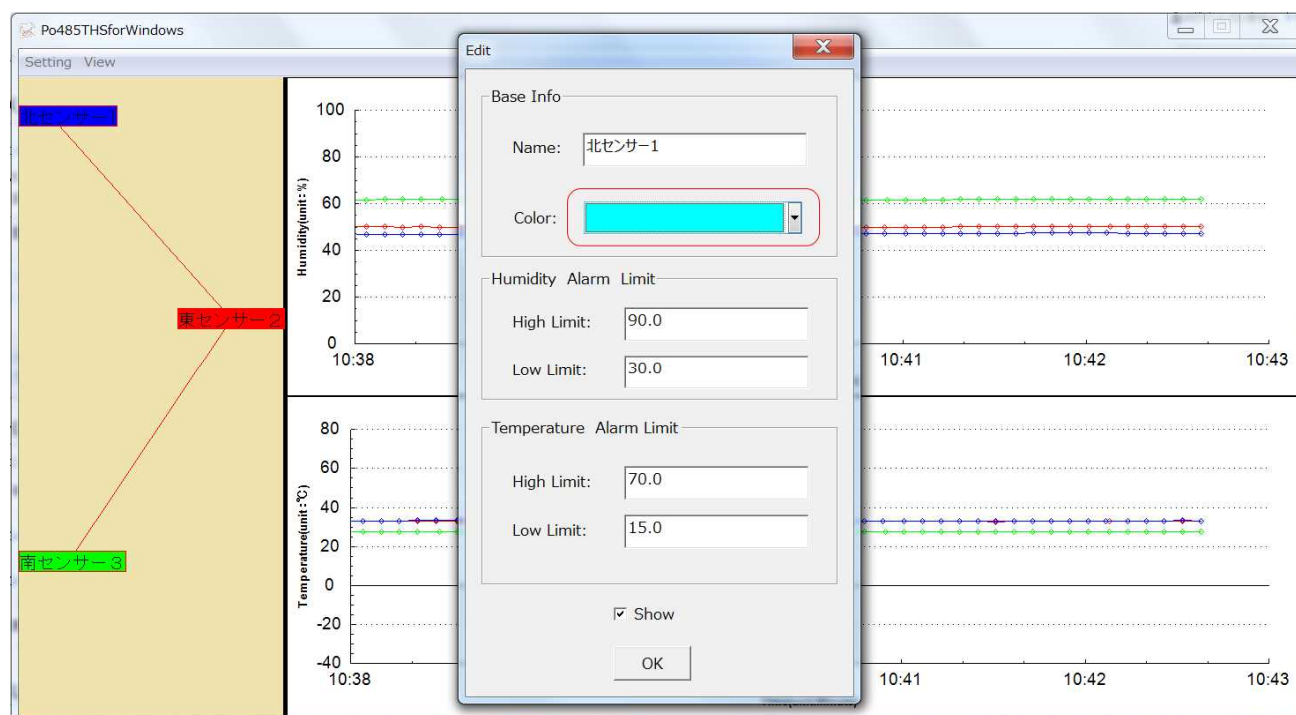


⑥登録したセンサーの設定を変更します。

下記画面のように MAP 画面上に表示された「北センサー1」の上にカーソルを移動し左クリックするとメニューが表示されますので、Edit を選択します。

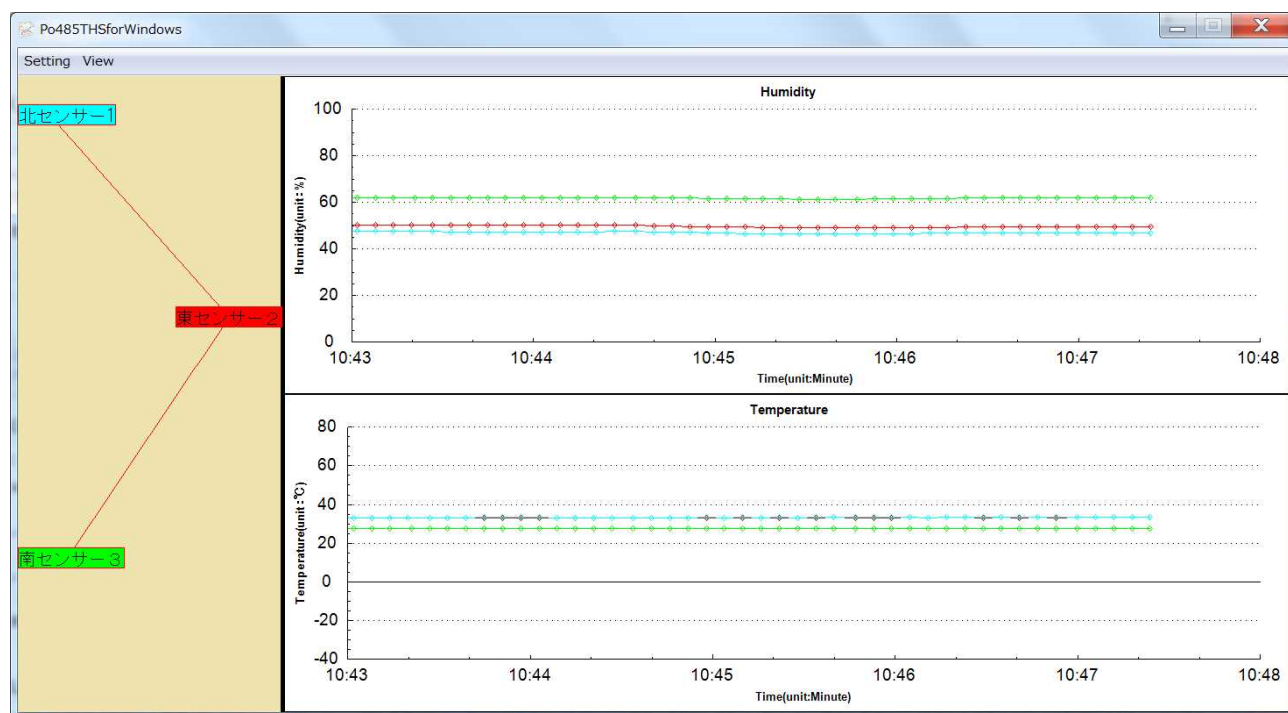


⑦下記画面のような表示となりますので、例えば表示色を下記画面のように水色に変更します。



OK をクリックすると

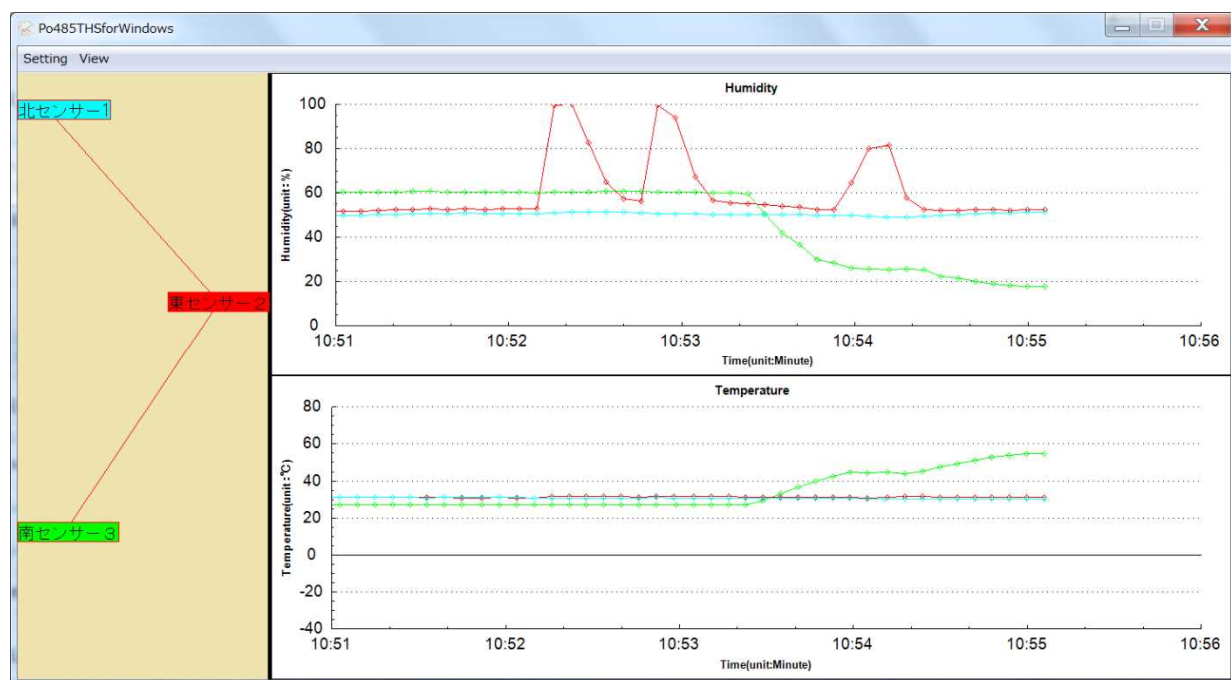
表示されている北センサー 1 の MAP 表示色、グラフの色が水色に変わります。



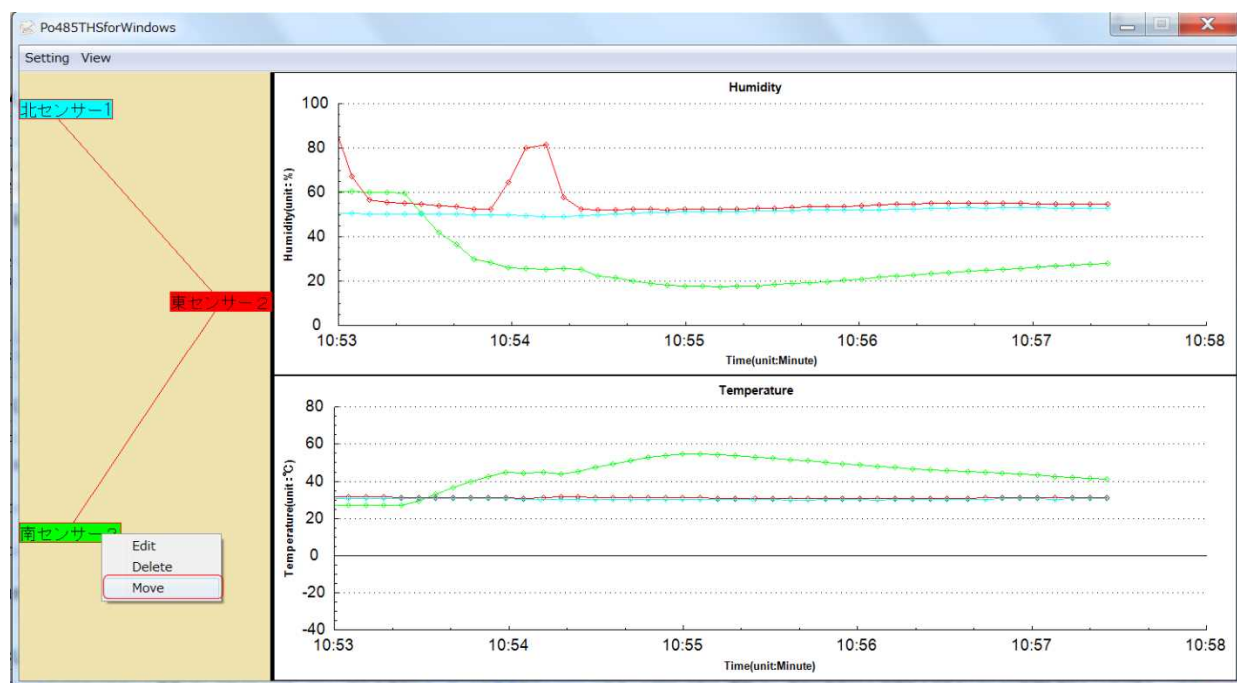
※その他の項目（Alarm Limit 等）の変更を行う場合は、同様の方法で Edit から変更を行います。



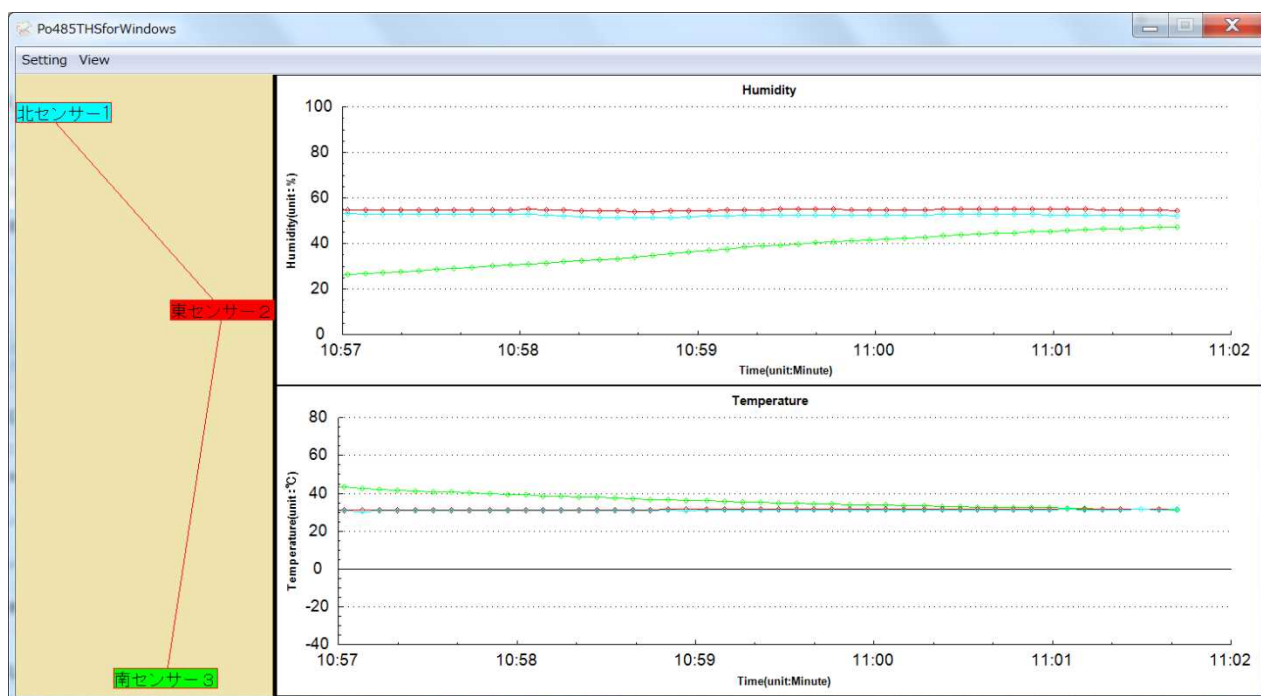
- ⑧メニューバー「Setting」－「Display Mode」の設定が「Real Time」の場合、設定された計測時間毎に「テルモワイヤ」より計測値が送信され以下の様にグラフがリアルタイムに描写されていきます。



- ⑨MAP 画面に登録したセンサーの場所を変更する場合は下記画面のように MAP 画面上に表示された「南センサー3」の上にカーソルを移動し左クリックするとメニューが表示されるので、Move を選択します。



対象のセンサーが選択された状態となり、MAP 上にカーソルを移動すると選択されたセンサーもカーソルに合わせて移動しますので移動したい場所に来たら左クリックすると位置が固定されます。



※センサーを削除するには、対象センサーの上にカーソルを移動し、左クリックから **Delete** を選択すると削除されます。

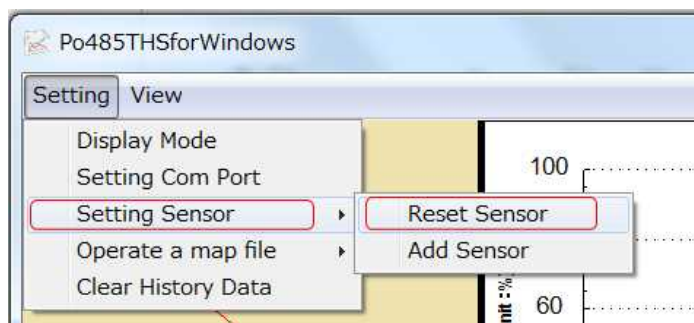
例えば、上記 MAP エリアから東センサー 2 を削除した場合、北センサー 1 と南センサー 3 が赤い線で結ばれます。この状態で新しいセンサーの追加を行った場合、南センサー 3 の次に追加されたセンサーが接続されるイメージとなります。

⑩センサーを追加する場合は、「Setting」－「Setting Sensor」－「Add Sensor」を選択し、前述⑤の様に追加したセンサー情報を登録します。

⑪前述③のメニューバー「Setting」－「Setting Sensor」－「Setting Count」で設定した設置センサー台数分登録が終わると、「Setting」－「Setting Sensor」メニューは下記のようになります。

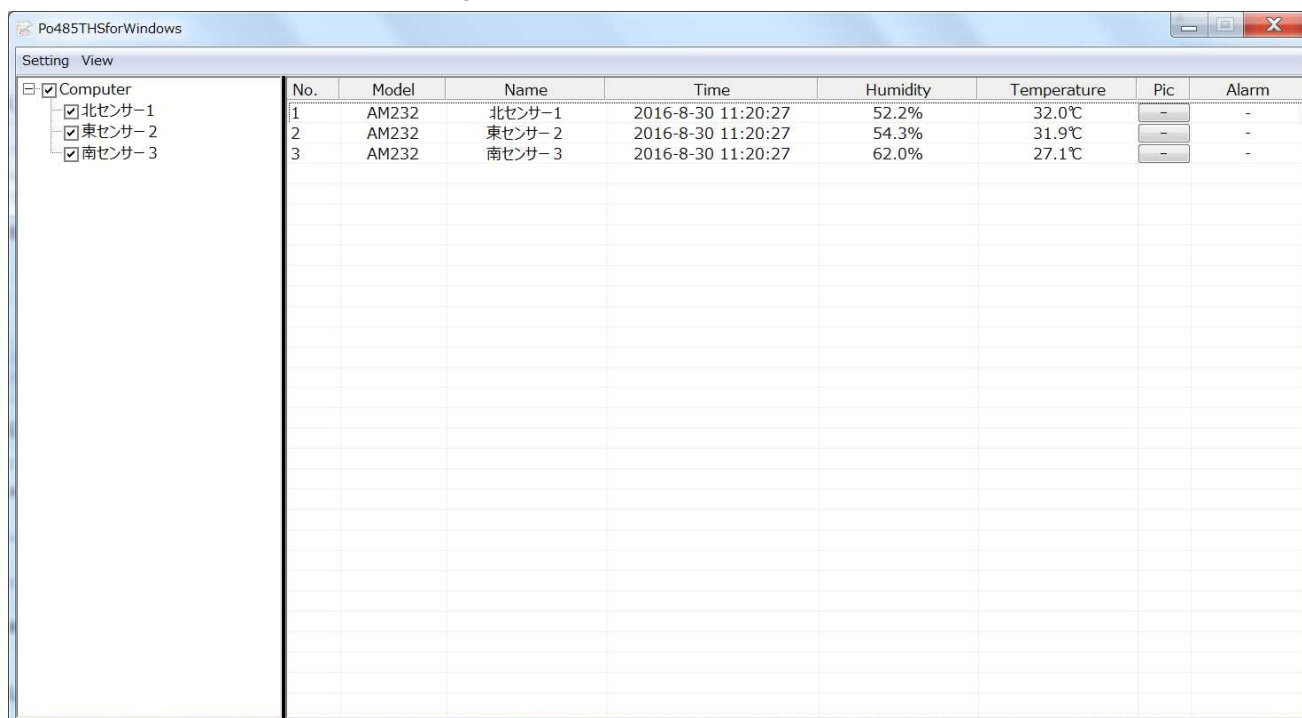
「Setting Count」の表示の代わりに「Reset Sensor」が表示されます。

**Reset Sensor** を選択し、操作を進めると前述③の接続センサー数入力画面となり改めてセンサー接続台数入力を行い、センサーを 1 から登録する事になります。(既存のセンサーは画面上から全て削除されます)登録の手順は、前述③以降と同様の手順で接続台数分のセンサーを登録する必要があります。



## ⑫Table モード表示の切り替え

メニューバー「View」－「Setting」より Table を選択すると下記の画面のように表示されます。

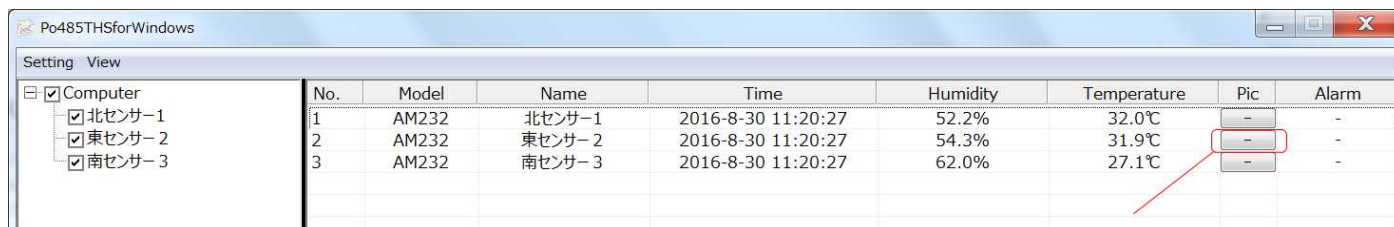


No.	Model	Name	Time	Humidity	Temperature	Pic	Alarm
1	AM232	北センサー1	2016-8-30 11:20:27	52.2%	32.0℃	-	-
2	AM232	東センサー2	2016-8-30 11:20:27	54.3%	31.9℃	-	-
3	AM232	南センサー3	2016-8-30 11:20:27	62.0%	27.1℃	-	-

※センサー名称のチェック（チェック）を外すと対象センサーが非表示となります。

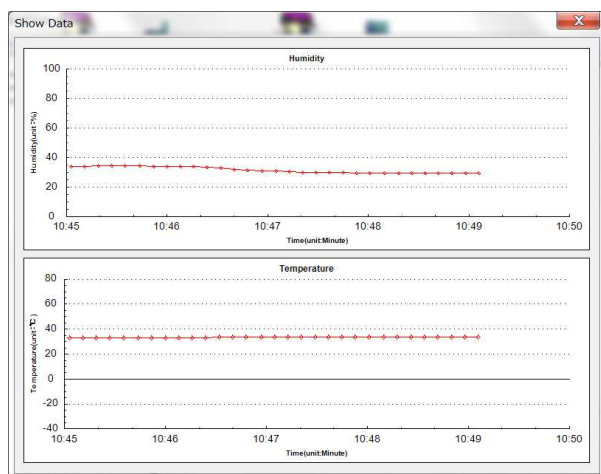
No.は、センサーの番号です。 Time は、計測時刻、Humidity は、計測湿度、Temperature は計測温度を表しています。

⑬対象のセンサーをピックアップする Table モード表示状態で、ピックアップ表示したいセンサーの Pic ボタンをクリックします。



No.	Model	Name	Time	Humidity	Temperature	Pic	Alarm
1	AM232	北センサー1	2016-8-30 11:20:27	52.2%	32.0℃	-	-
2	AM232	東センサー2	2016-8-30 11:20:27	54.3%	31.9℃	-	-
3	AM232	南センサー3	2016-8-30 11:20:27	62.0%	27.1℃	-	-

すると以下のようにピックアップされたセンサーのグラフが表示されます。





#### ⑭Alarm データ

前述、Humidity Alarm Limit, Temperature Alarm Limit：で指定の湿度、湿度の上限・下限値を超えるデータを計測すると下記のように Alarm 表示されます。

Alarm 表示部分をダブルクリックすると Alarm データ詳細が別 Window で表示されます。

Alarm データ詳細画面にて、

- ・「Clear Alarm」 ボタンをクリックすると Alarm データを削除します。
- ・「Set Limit」 ボタンをクリックすると温度・湿度の Alarm Limit 値の変更が可能です。

Alarm データ詳細画面を表示・確認後、詳細画面を閉じると Table 画面の「Alarm」の表示部（下記画像 ピンク囲い部分）が赤字から黒字に変わります。

黒字表示に変わった後に、新しい Alarm データを計測した場合は、表示が再び赤字となります。

Po485THSforWindows

Setting View

Alarm Data

Name	Time	Humidity	Temperature
東センサー-2	2016-09-02 14:52:58	99.6%	32.2℃
東センサー-2	2016-09-02 14:53:47	95.3%	32.1℃
東センサー-2	2016-09-02 15:15:35	99.6%	32.0℃
東センサー-2	2016-09-02 15:15:41	79.4%	31.9℃
東センサー-2	2016-09-02 15:15:47	67.6%	31.9℃
東センサー-2	2016-09-02 15:34:17	79.2%	30.3℃
東センサー-2	2016-09-05 09:06:14	61.7%	26.5℃
東センサー-2	2016-09-05 09:06:20	61.5%	26.4℃
東センサー-2	2016-09-05 09:06:26	61.4%	26.5℃
東センサー-2	2016-09-05 09:06:32	61.2%	26.5℃
東センサー-2	2016-09-05 09:06:38	61.0%	26.6℃
東センサー-2	2016-09-05 09:06:44	60.8%	26.7℃
東センサー-2	2016-09-05 09:06:50	60.6%	26.8℃
東センサー-2	2016-09-05 09:06:56	60.3%	26.9℃
東センサー-2	2016-09-05 09:07:02	60.2%	27.0℃
東センサー-2	2016-09-05 09:07:33	60.1%	27.3℃
東センサー-2	2016-09-05 09:07:39	60.1%	27.4℃
東センサー-2	2016-09-05 09:07:45	60.1%	27.4℃
東センサー-2	2016-09-05 09:14:57	99.6%	31.9℃
東センサー-2	2016-09-05 09:15:03	93.8%	32.2℃

Humidity High Limit: 60.0% Low: 30.0%

Temperature High Limit: 50.0℃ Low: 15.0℃

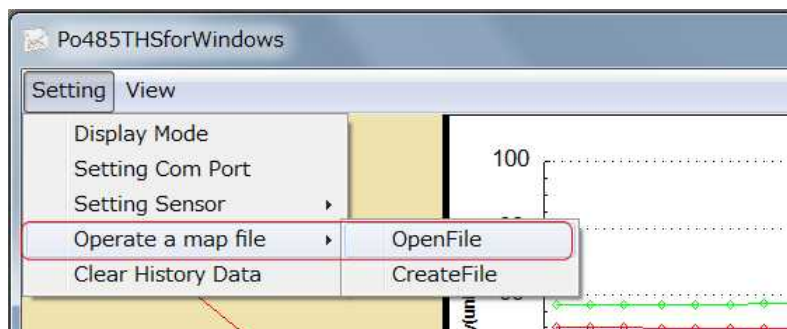
Clear Alarm Set Limit

Alarm Data Table (Right):

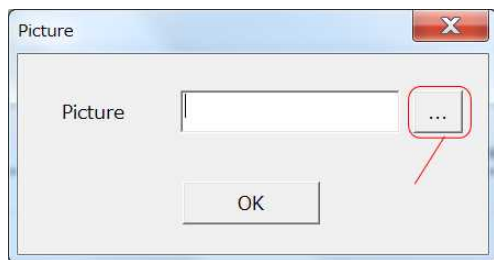
ture	Pic	Alarm
C	-	Alarm
C	-	Alarm
C	-	Alarm

⑮ 「Operate a map file」 — 「OpenFile」 メニューの実行

MAP エリアに表示する背景画像（.bmp 形式ファイル）が選択できます。



選択すると下記のように .bmp 形式ファイル選択の画面となります。

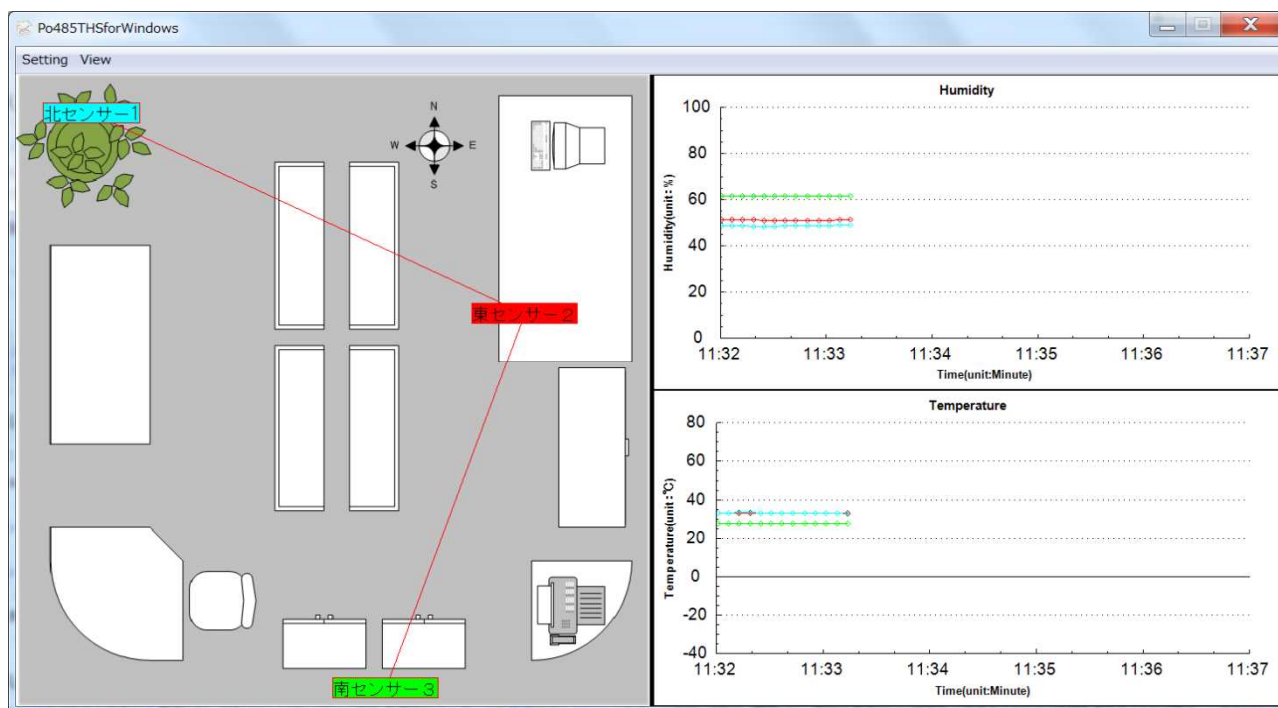


ファイルを選択し、OK をクリックすると MAP 背景画像が変更されます。

センサーを設置した地図や現場の写真等を.bmp 形式ファイルで作成しておいて MAP 背景に読み込むとセンサー設置配置がイメージしやすくなります。 MAP エリアの大きさは、サイズ変更可能です。

MAP エリアとグラフ表示エリアの境界線にマウスカーソルを移動し⇔を表示させ左クリックしながら横幅の調整が可能です。 高さを変更するには Window の上段・下段ふちにカーソル移動し↑↓を表示させた状態で縦幅を広げる事が可能です。

MAP エリアに表示の.bmp 形式ファイルのサイズにより MAP エリアの幅が変わります。 使用 PC の画面サイズ及び MAP 背景画像の大きさに依存しますが、MAP エリアの横幅が大きくなるとグラフ表示エリアが狭くなりますので、適切な MAP エリア幅及び背景画像サイズを選択してご使用下さい。

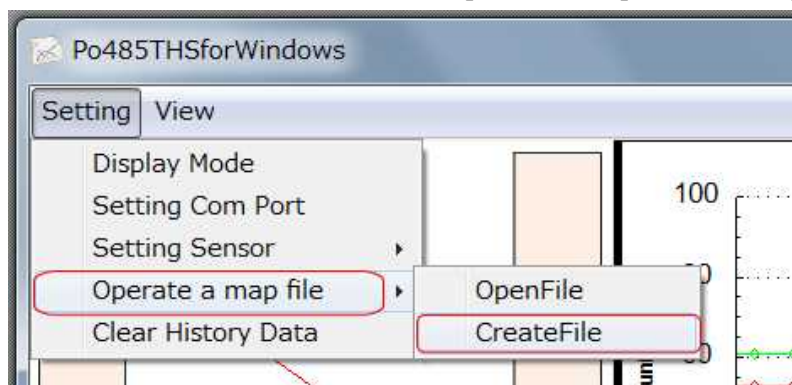


⑩ 「Operate a map file」 — 「CreateFile」メニューの実行

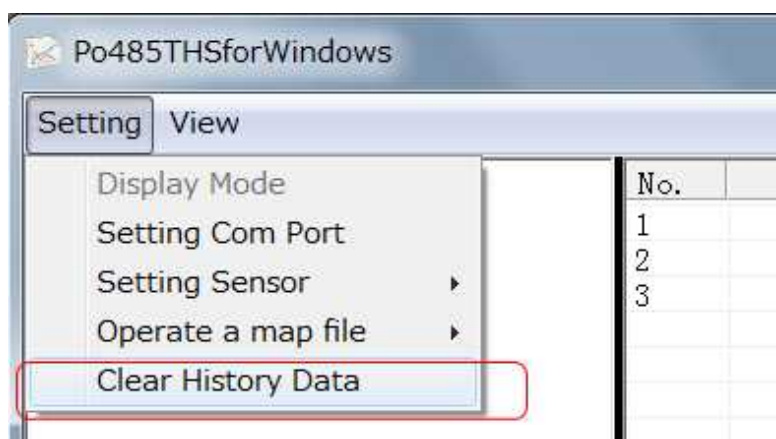
現在の MAP エリアイメージを独自.sdz 形式のファイルで名前を付けて保存します。

センサーの配置や数等の変更が生じる際に、このファイルを保存しておくこと、変更前と変更後の MAP エリアイメージ画像を比較する事が出来ます。

保存した、.sdz ファイルは、「Operate a map file」 — 「OpenFile」から開く事が出来ます。



⑪ 「Clear History Data」メニューの実行



下記画面が表示されます。 Yes を選択すると  
設定したセンサー情報、収集したデータ等全てを消去して本プログラムを終了します。  
設定情報やデータ等全てが消えます。 ご注意ください。

